

様式1号
(総括票)

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	安曇野市役所							
代表者名	氏名	宮澤 宗弘			役職名	市長		
主たる事務所の所在地	安曇野市豊科6000番地							
主たる事業の分類	大分類	S 公務（他に分類されるものを除く）						
	中分類	9821 市町村機関						
主たる事業の概要	市行政機関							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者						
原油換算エネルギー使用量	7,239	kl	その他ガス排出量合計	0	t-CO ₂	自動車の台数	288	台

2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	http://www.city.azumino.nagano.jp/
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

安曇野市は平成17年10月に豊科町・穂高町・三郷村・堀金村・明科町の5町村が対等合併して誕生し、旧町村の各庁舎をそれぞれ支所として利用している。また、ほぼ同規模の町村の合併のため、同規模の施設が旧町村ごとに存在している状況である。

平成26年度に本庁舎が竣工し、支所機能以外の部署が集約され、平成27年5月より業務が開始された。また、各支所をはじめ老朽化が進んでいる施設の建替え・改修の計画も進めている。

予算は限られており、全ての施設において、一律にエネルギー使用の合理化を進めるのではなく、今後残していく施設等を中心に高効率照明の導入等といった合理化を進め、改修される施設等については、改修時にエネルギー使用の合理化を進めていく計画である。

5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	18,880	t-CO ₂	寄与度の合計		単位		
25年度	調整後排出量	15,862	t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	18,313	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率※
28年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%		3
目標設定に関する説明	年1%以上の排出抑制を目標とする。						※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。	
第一年度	排出量	18,852	t-CO ₂	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	18,769	t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率※
26年度	削減率	0.14	%	削減率		%		1.8
排出量等の増減理由	夏季(6月~9月)の電気使用量が減少したため。							
第二年度	排出量	18,978	t-CO ₂	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	18,911	t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率※
27年度	削減率	(0.52)	%	削減率		%		2.3
排出量等の増減理由	上水道事業における水源転換があり、ポンプアップする量が大幅に増加した。同程度の配水量に対してポンプアップ電力分が純増となったため。							
第三年度	排出量	15,546	t-CO ₂	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	15,460	t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率※
28年度	削減率	17.65	%	削減率		%		-1.5
目標の達成状況及び排出量の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・計画時に記載の安曇野菜園について、平成28年3月18日議決による市有財産の処分により株式会社エア・ウォーター農園へ譲与したため、安曇野市役所の設置工場等に該当しなくなり、排出量が減少している。 ・本庁舎における凍結防止帯の使用による電気使用量の増加、また、税の申告相談会場を庁舎内1階フロアに設置したことに伴う暖房使用による灯油使用量の増加。 							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
25年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	687	t-CO ₂			
25年度						
目標年度	目標排出量	666.32	t-CO ₂	削減率	3.01	%
28年度						
目標設定に関する説明	公用車の燃料使用量を基準年度比1%以上削減を目標とする。					
第一年度	排出量	667	t-CO ₂	削減率	2.91	%
26年度						
排出量等の増減理由	部署の一部集約などによる公用車利用機会の減少					
第二年度	排出量	555	t-CO ₂	削減率	19.21	%
27年度						
排出量等の増減理由	部署集約の完了による公用車利用機会の大幅減					
第三年度	排出量	653	t-CO ₂	削減率	4.94	%
28年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由	部署の集約による公用車利用機会の減少					

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握	実施済	実施しない	実施済	実施済	実施済	
	2	エコドライブの励行	実施済	実施しない	実施済	実施済	実施済	
III、IV	—	次世代自動車の導入	実施中	実施しない	実施中	実施中	実施中	

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	110101 推進体制の整備	28		28	188.8
2	エネ起	130101 設定温度、除湿の適正化	28		28	188.8
3	エネ起	320301熱利用設備に係る断熱の保全管理	26		26	2,500
4	エネ起	330201 空気調和の管理	27		28	188.8
5						
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	kW	213	0	223	237	244

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	3,017		83	67	86
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	4,043	1	3,821	1	4,087		
1,500k1未満	221	14,910	232	15,031	222	14,942	225	15,546
合計	222	18,953	233	18,852	223	19,029	225	15,546

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	1	1	1	1
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他	6	6	6	7
合計	7	7	7	8
自動車総数	308	316	287	288
次世代車導入割合	2.3	2.2	2.4	2.8

様式1号
(総括票)

14 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	なし
その他	事業者向け省エネ対策講演会の開催

15 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	年2回「ノーマイカー通勤ウィーク」を実施 私用車の駐車場を有料とする等のディスインセンティブの設定
公共交通機関の利用促進	デマンド交通「あづみん」の運行
来客者の交通対策	なし
物流の合理化	庁舎間メール便の削減

16 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	エコアクション21	平成27年度
2		
3		

17 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	照明時間の管理：8時30分前には必要以外の点灯をしない。17時15分には必要以外の照明を消す。昼食時間は必要以外の照明を消す。 OA機器の管理：17時15分には必要以外のOA機器の主電源を消す。 冷暖房の温度設定：暖房20℃、冷暖房28℃の設定を徹底する。
第一年度実績	照明時間の管理：8時30分前には必要以外の点灯をしない。17時15分には必要以外の照明を消す。昼食時間は必要以外の照明を消す。OA機器の管理：17時15分には必要以外のOA機器の主電源を消す。冷暖房の温度設定：暖房20℃、冷暖房28℃の設定を徹底する。各施設に「緑のカーテン」の設置を推進する。環境イベント「安曇野環境フェア」を開催する。年2回の「ノーマイカー通勤ウィーク」を設定する。5月～10月にクールビズを実施する。
第二年度実績	第1年度実績に同じ。 加えて、新庁舎にBEMSを導入し、ナイトページや外断熱工法等の対策を取り入れたことで、電力カットとピークシフトへの貢献を実現した。EMSの認証取得に向けた職員教育を実施した。 新庁舎への業務集約をしたことにより公用車のムダが削減され、使用量が減少した。
第三年度実績	第一年度実績に同じ。 加えて、一斉定時退庁日（水曜日）の徹底、冬季におけるウォームビズの実践、エコアクション21の運用による体制整備・職員教育

18 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	安曇野市地球温暖化防止条例に基づく取り組み	不明
その他	「8 排出抑制目標達成のための具体的な措置」の計画 削減見込量について、現状行える対策で削減見込量を算出することは不可能なため、空欄で報告します。	